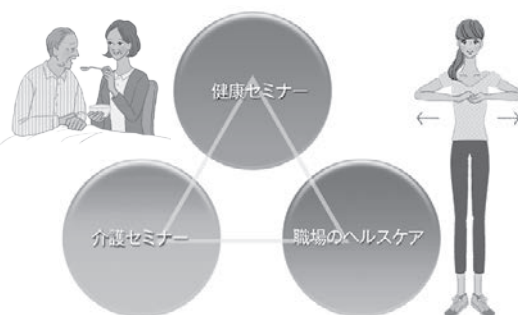


# ウェルライフセミナーのご案内

第一生命経済研究所では、企業・団体の皆様向けに「健康」「介護」「職場のヘルスケア」をテーマとした「ウェルライフセミナー」をご提供しています。

年間300回以上開催しているオリジナルプログラムで、どなたにも分かりやすく、お気軽にご参加いただける内容です。

保健師・ケアマネジャー・産業カウンセラー等の資格を持った専属講師が分かりやすく解説します。



	メニュー	標準時間
健康セミナー	生活習慣予防	60分
	7秒間エクササイズ	45～60分
	今日からはじめるウォーキング	45～60分
	女性のための乳がん予防	60分
介護セミナー	介護入門講座	60分
職場のヘルスケア	心とからだのリフレッシュ(従業員向け・セルフケア)	60分
	リーダーのためのコミュニケーション術(管理職向け・ラインケア)	60～120分
	やってみよう!身近な働き方改善(管理職向け)	60分

- 詳細につきましては、右記までお問い合わせください。
- ビデオ撮影やTV会議などの中継はご遠慮いただいております。
- 従業員様を対象としたセミナーです。お客さま向けイベントなどでのご利用はお断りしております。

## お問合せ先

ライフデザインセミナー事業部

電話:03-5221-4783

受付時間:月曜日～金曜日 10:00～17:00

\*祝日・年末年始を除く

## 編集後記

日銀が久しぶりに動いた。ここ最近は大規模緩和の副作用を懸念する声が強まりつつも、直近の軟調な物価の動きを考えると日銀は動くに動けないだろうと思われていた。そこに政策の柔軟化検討との報道。ブラックアウト期間外にもかかわらず関係者から否定発言等もなかったことからマーケットは徐々に織込みに動いたが、今出来る事は限られているだろうということで大した動きはなかった。

久しぶりに今か今かと情報ベンダーの前で発表を待つ人も多かったようだが結果はほぼ想定通り。政策金利のフォワードガイダンスを正式に導入し、副作用を懸念する声に配慮して資産買入の柔軟化、政策金利残高の見直しを行った。ただあくまでも「継続のための枠組み強化」ということなのだろう。一部で言われていた「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の名称変更はなかった。

注目の10年国債の指値オペ水準は黒田総裁が「これまでの2倍程度」と話していることから上限は0.2%と考えられている。でもこれってよく考えると基本の枠組みは維持しながら長期金利の上限を上げたわけで今後も量を柔軟に調整しながら長期金利を上げていける仕組みということで実質的には出口の入り口にしっかり手をかけたと言えるのかもしれない。

今回の「枠組み強化」でも直ぐに債券市場が生き返るとか金融機関の収益環境が好転するとは思えないが、そうした副作用に配慮したことは評価できるし非常に上手くやったと言えるのではないかと。以前この欄で「さすが黒田日銀」と言われるような市場との対話、政策運営をお願いしたいと書いた。引き続きよろしくお祈りします。(H.S)